



東京都 井荻歯科医院
歯科衛生士

筋野 真紀さん



東京都 井荻歯科医院
歯科衛生士

小森 朋栄さん

今回のアイテム

センサーホルダー

CCDセンサーによる規格化撮影を容易にするアイテム

CCDセンサーによるレントゲン撮影は、フィルムやイメージングプレートよりも、速やかに画像を確認でき、さらにX線被爆量を減らせるという利点があります。

X線写真から正確な情報を得るためには、毎回規格化された、再現性のある撮影を行うことが有益です。

しかし、CCDセンサーは厚く、しかもケーブルが連結されているため患者さん、術者双方にとって扱いが困難であり、規格性のある撮影は難しいといえます(図1)。

センサーホルダーを使用すると、CCDセンサーでも簡単に規格化された、平行法撮影を行うことができます。

本製品にCCDセンサーを装

着し(図2)、患者さんにホルダーのバイト部を咬合してもらいます(図3)。そして、ガイドとなるセンタリングリングに撮影装置を合わせれば、撮影設定に慣れない方でも、自動的に平行法撮影となります(図4)。

また、咬合が難しい症例では、センサーホルダーを口腔外で把持してもらうことにより、同様の撮影が可能です(図5)。

本製品はクラウンの位置を動かすことにより、様々な大きさのCCDセンサーに対応します。

規格化され、再現性のある平行法撮影をCCDセンサーで簡単に行えるセンサーホルダーは、日々の臨床において、とても有用なアイテムであるといえるでしょう。



図1. 厚さとケーブルの存在がCCDセンサー(下)の扱いを困難にしている。上は従来型フィルム(左)とイメージングプレート(右)。



図2. センサーホルダーにCCDセンサーを装着。センサーホルダーには一般用とエンド用のそれぞれ前臼歯用が用意されている。



図3. ホルダーを咬合してもらうことで、歯に対するCCDセンサーの位置が固定される。



図4. 術者はリング部分に撮影装置を合わせればよく、撮影角度で悩むことはない。



図5. 咬合が困難な症例では口腔外でセンサーホルダーを把持してもらう。